

公認スポーツライミング競技コーチ4
資格概要

2023年4月1日現在

主催		公益財団法人日本スポーツ協会 公益社団法人日本山岳・スポーツライミング協会	
養成目的		国際レベルにおいて、競技者の育成及び育成システムにあたるナショナルコーチを育成する。	
役割		広域エリアでのスポーツライミング競技の競技力向上にあたり、国際大会における競技者育成と育成システムの研究開発に参画する。 国民体育大会の選手指導および監督資格となる。	
養成講習会に係る内容	受講条件	次の条件をすべて満たした者でなければならない。 (1) 受講年度の4月1日現在、満30歳以上 (2) コーチ3資格取得後3年以上の指導実績を有している者 (3) 日本スポーツ協会の所定の共通科目(Ⅳ)を修了、あるいは修了予定の者 (4) 都道府県山岳(・スポーツライミング)連盟(協会)(以下都道府県山岳(・スポーツライミング)連盟(協会)を岳連(協会)という)に所属し、同岳連(協会)が推薦し、JMSCAが認める者 (5) 国際性を有し、国際的なレベルに達したものと日本山岳・スポーツライミング協会が認めた者 (6) グレード5. 13をリードおよび初段のボルダリングができると判断された者 (7) 国際大会の競技経験と競技指導経験を有した者	
	受講科目	共通科目	共通科目Ⅳ(151h以上)
		専門科目	スポーツライミングコーチ4専門科目(80h) ※別紙カリキュラム表参照
	受講料	共通科目	共通科目Ⅳ: 30,800円(税込)※別途リファレンスブック代
		専門科目	受講料: 17,600円(税込)※実施団体が別途定める場合がある
	実施方法	共通科目	別に定める共通科目実施要領に基づき日本スポーツ協会が実施する
専門科目		<ul style="list-style-type: none"> ■講習会 カリキュラム(80時間)に基づき、日本山岳・スポーツライミング協会が直接集合講習会と通信講習(レポート)により開催する。実際の実施計画については、日本山岳・スポーツライミング協会と日本スポーツ協会との相談の上実施する。 ■検定試験 日本山岳・スポーツライミング協会スポーツライミング指導委員会が作成・出題し、筆記試験、レポート評価、技能検定の総合判定とする。 ■審査 合格者の判定は筆記試験、レポート評価、技能検定の総合判定結果を基に、日本山岳・スポーツライミング協会スポーツライミング指導委員会で審査の上、原則として満点の6割以上を合格とする。 ■免除要件 	
登録に係る内容	登録料 (4年間)	基本登録料: 10,000円	
		資格別登録料: 2,000円	
		初期登録手数料(初回登録時のみ): 3,300円	
更新登録要件	資格登録有効期限の6か月までに、最低1回は、日本山岳・スポーツライミング協会が定める(認める)研修会または日本スポーツ協会(都道府県体育(スポーツ)協会)が実施する(認める)研修を含む)が実施する研修を受けなければならない。		
特記事項			

公認スポーツライミング競技コーチ4

2023年4月1日現在

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
① 基礎理論	①	スポーツライミング競技動向(国内・国際動向及び最新ルール)	2.00 h	10.00 h	12.00 h
	②	コーチ育成(現状把握と改善構築)	2.00 h	8.00 h	10.00 h
	③	医学・生理学(障害予防・パフォーマンス向上)	2.00 h	5.00 h	7.00 h
	④	技術論	1.00 h	8.00 h	9.00 h
	⑤	戦略(情報収集、長期プランニング)	2.00 h	9.00 h	11.00 h
	⑥	チームビルディング	2.00 h	3.00 h	5.00 h
	小計			11.00 h	43.00 h
② 実技・指導実習	①	トレーニング(パフォーマンス向上)	2.00 h	6.00 h	8.00 h
	②	コーチング	3.00 h	6.00 h	9.00 h
	③	選手強化合宿の実践	3.00 h	2.00 h	5.00 h
	④	国際試合の実践対応	2.00 h	2.00 h	4.00 h
	小計			10.00 h	16.00 h
			21.00 h	59.00 h	80.00 h